

## インフルエンザ、一時終息

6日(木)・7日(金)から発症者が続出したインフルエンザA型ですが、1・2年の学年閉鎖を経て、とりあえず終息の見込みとなりました。14日(金)には、元気で登校する生徒が増えてきています。

しかし、ここ数日のニュースでは、インフルエンザは全国で流行の兆しということですので、今後も油断せず感染防止に努めたいと考えます。

また、今回はA型の発症・流行でしたが、今後は新型の流行も予測されます。そこで、御家庭でも、これまで同様、

- ・うがい、手洗い、保温の奨励。
  - ・必要の無い外出は避け、できるだけ人混みを避ける。
  - ・必要に応じて、マスクの着用をする。
  - ・睡眠をしっかりとって、抵抗力を高める。等
- 感染防止の取組をよろしくお願いいたします。



ところで、校内で生徒たちを見ると、半袖体操服の上に長袖ジャージという薄着で過ごしている生徒が殆どであることが気になります。中には、終日半袖で過ごしている生徒もいて、心配になります。

体操服とジャージの間に、セーターかトレーナーを1枚着るだけでだいぶ違いますし、ヒートテックの肌着なども、保温効果は高いはずですよ。

御家庭でも、「プラス1枚着て、保温!」、声かけと御指導をお願いいたします。

## 歳末たすけあい募金

12月1日(土)、市の福祉協議会から要請を受け、嶺南中生徒会総務の生徒が、「おどや」前で募金活動を行いました。午前中3時間あまりの活動でしたが、4万円超の募金が集まり、活動効果は抜群でした。

「買い物のついでに」、という保護者・地域の方々だけでなく、「中学生ががんばっているそうだから。」とお買い物もないのにわざわざ車で駆け付けて募金して下さった方もいるとか。

地域の皆さまの温かいお気持ちに、心より感謝いたします。



## 防災について改めて考える

先日の防災訓練の後、御参観いただいた大井区長様からアドバイスをいただきました。日常生活に役立つことがたくさんありましたので、ここに記します。

### 1 地震発生時の初期動作について

#### (1) 自分の身を守るために

- ・学校にいる時は、天井からの落下物がない所、**ガラス窓から離れた場所**を自分で確保する。
- ・自宅にいるときは、**トイレが一番安全な場所**。但し、**ドアは開けておくこと**。
- ・集団心理で、我先に移動すると、転んで圧死に結びつく可能性もあるので、注意する。

#### (2) 避難誘導について(学校側への注意として)

- ・校内放送の音量等、日常的な注意が必要。
- ・多様な避難者を想定して、多言語の放送原稿を準備しておくことも大切。
- ・**停電を想定して**、乾電池、バッテリー、非常用電源、ソーラー等の手段を用意しておくが良い。

(これは、家庭にも共通しますね。)

### 2 東日本大震災の教訓から

- ・指揮系統、命令系統が機能しない場合もあることを考え、**自分一人でも避難できるように**、想定をしておくこと。(→学校からだったら →家からだったら 等)
- ・避難場所にハイキングに行くなど、そこに複数回移動する体験をしておくこと。

これらのアドバイスをお聞きし、先日新聞等で報道されていた大津波の想定水位(28.5m)による被害が心配になったのでインターネットで再確認したところ、ここ嶺南中の標高は29m、校舎2階の廊下は32m以上の高さになりますから、ひとまず一時避難場所としては適切であろうと判断します。

学校の近所では、莫越山神社の本殿山頂が標高38mだそうですので、生徒の皆さんは、登下校中の避難場所として想定しておいてください。

また、御家庭では、自宅の近くに地震発生から8分で駆け上れる高台があるか、それは標高何メートルかなど、地域の防災情報に耳を傾けたり目を配ったりして、自己の安全を確保するよう、お願いいたします。

## 3年生は、進路に向けてまっしぐら

放課後学習会、面接練習等、3年生は受験に向けて毎日熱心に取り組んでいます。頑張るみんなは素敵です。

進路を考える上で、「夢を追いかける」ことは大切ですが、「経済的に自立して自分の生計を立てること」も、今の時代ではとても大切です。

高校進学は「進路」ではなく、「進路の入り口」です。高校卒業後の自分を想定して、そこに自分をつなげるためにも、「今」を頑張ってください。

